

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

1 学校の現状と課題

本校は、令和2年に創立100周年を迎え、先人達が築き上げた秋田商業高校の歴史を深く認識し、校訓「感謝・勤勉・鍛錬」のもと文武両道を旨とし、新たな100年に向けスタートを切ったところである。県内商業教育の中心校として、専門的な知識、技術及び技能の習得と職業人としての倫理観、起業家精神等を身に付け、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う創造性豊かな人材の育成を図ることが求められる。

2 学校を取り巻く将来の状況の予想

社会は今、グローバル化や情報化が急速な勢いで進展しており、その変貌に柔軟に対応することが必要となる。高校段階の学びにおいて、個性や能力を存分に発揮し、他者と協力しながら地域社会へ積極的に参画し貢献しようとする態度を身に付けた若者を育む必要がある。また、本県は少子化の影響により生徒数の一層の減少が予想されており、高校入試の志願者倍率にもその傾向は顕著に表れている。本校においても近年は志願者倍率の低下がみられ、今後の入学定員減少の可能性も視野に入れながら対応していかなければならない。また、現校舎への移転から43年が経過しており、校舎全体の老朽化が顕著である。一層の愛校心といたわりの心を持たせる指導の継続が求められる。

3 目指す方向性や学校像

(1) 目指す学校像

- ①後期中等教育段階として求められる一般的な教養と商業教科が求める専門的な知識、技術及び技能を習得させる。
- ②建学の精神である「感謝・勤勉・鍛錬」の意味を具現化させながら、豊かな人間性、創造性、健やかな身体を養い、志と使命感を育む。
- ③社会事象についての広く深い理解と、健全な判断力を養う。

(2) 目指す生徒像

①「秋商スタンダード」の達成

★全員が「生活習慣」「基礎学力」を身に付ける。

- ・秋商生としての誇りを忘れず、心身ともに健全で品位ある生活をする。
- ・挨拶を大切にし、明朗闊達に生活する。

★全員が資格取得に挑戦し、進路実現に活かす。

- ・自己実現のために必要な資格は何かを自ら考え、その取得に向けて積極的に取り組む。
- ・コースの特性を活かした資格を計画的に取得する。

②部活動を通して獲得したい能力

★先輩と後輩が同じ目標に向かって行動することで、自分の役割を理解し、協力・協調することができる。

★技術を磨き、自己を探求・表現することで、向上心を高める。また、成功や失敗を

体験することで、今後の目標を自ら定めるとともに、困難を克服していく忍耐力を養う。

★生涯にわたって活躍するための行動力や体力を向上させ、スポーツや文化、芸術を通し、社会貢献及び社会形成に積極的に参加しようとする態度を身に付ける。

4 5年間を通しての具体的目標

- ・年間の欠席率を減らし、年間の皆勤を在籍の28%以上とする。
- ・中途退学者を、0.5%以下とする。
- ・就職、進学とも100%達成を目指し、県内の就職率を就職者の75%以上とする。また、1年以内の離職率を5%以内とする。
- ・資格取得では、日本商工会議所簿記検定2級や全国商業高等学校協会情報処理検定1級をはじめ、より上位の資格取得を目指す。
- ・部活動では、高い所属率を維持し生徒の主体性を伸ばしながら、運動部・文化部ともに全国大会出場を目指す。また、毎年複数の種目またはチームの全国優勝を目標とする。
- ・ホームページ更新を最低でも隔週火曜日に行い、情報発信の充実に努める。

具体的な取り組み等

1 秋商キャリア教育の推進

『「凡事徹底」を積み重ね、たくましい自分をつくる』を合言葉に、3年間の様々な学習・経験を通して、社会的・職業的に自立するために必要な資質・能力や態度を身に付ける。「秋商キャリアシート」を活用し、自己の適性や能力を把握して進路選択に繋げる。

2 ビジネス実践の更なる充実とボランティア活動による地域貢献

ビジネス実践（AKISHOP・キッズビジネスタウン・エコロジカルビジネス・1年次のビジネス実践基礎講座）においては、地元企業や地域社会との連携・交流をより一層充実させるとともに、地域活性化のための商品開発やイベント企画を行うなど、商業科の特性を生かした実践的な活動を充実させる。

また、専門的知識を有する外部講師を積極的に活用しビジネスに関する理解を深めることで、変化するビジネス社会の課題を的確に見つけ、それを解決するために主体的に考えて行動できる人材の育成を目指す。

さらに、ボランティア活動に積極的に参加し、地域貢献や地域交流を進めるとともに、相手の気持ちを理解し行動する社会性を身に付けさせる。

3 基本的な生活習慣の確立と確かな学力の定着

「秋商スタンダード」を理解させ、身に付けさせる。また、基礎学力向上テストを年間を通じて計画的に実施し、基礎学力の定着向上を図るとともに、必要に応じて補習等を実施し、専門的知識技術の向上や高度な資格取得、進路実現に向けて取り組ませる。

さらに、社会を取り巻く環境の変化等に対応した専門分野の指導力向上のため、教員研修の充実を図る。

4 部活動による学校全体の活性化

全校生徒に意欲的に部活動に取り組ませ、活気のある学校づくりを進めることにより学校全体の活性化を図る。各部の伝統を受け継ぎながら、更なる各種大会での上位入賞を目指す。ただし、勝敗だけに固執したり、技術等の向上だけを部活動の目的にするのではなく、部活動を通じた人間形成の実現を図る。

5 コースの特色を生かした教育活動の実践と情報発信

「会計」「流通経済」「情報」の各コース別の学習を展開しながら学力向上と資格取得を推進する。また、学校行事や部活動の大会結果、ビジネス実践（総合的な探究の時間）等の成果について、ホームページ等を通じて地域に効果的に発信する。